



発行所
宇都宮市中央3-11-13
常照寺
宇陽山
028-634-4205
発行人 角田和道
編集人 青木昭

2月号

○高祖ご降誕の月・教区内の後続者育成
○家族の信心増進と法灯相続確立



ホームページ

日晨上人要語録より

◎人材養成

御弘通の御奉公とて外になし 御講まゐりや又つとめたり

過日、この御教歌で御法門をしました。日蓮聖人の弟子信者とは、どういう心構えて信仰すべきかとの質問に対し、答えられた御教歌なので、ウカツに説いてはならぬと、そのときとても緊張しました。さて、日蓮聖人がわが国にご誕生なされたご因縁はといえば、上行所伝の妙法を弘通し、衆救済するためと申せば異論はないはず。まったく日蓮聖人の六十年のご生涯は、妙法弘通の大道から片ときも遊離したことはありませんでした。ですから弟子信者も、その祖師の信心を継承し、広宜流布の大道を踏みはずしてはならぬのです。しかも、それが御本尊である久遠本仏のみ心であって、「妙法の五字は祖師よりさづかれり。そしに、は仏みことのりあり」との御教歌のごとく、久遠の永遠の昔から伝承された当宗の「いのち」です。したがって教化運動

に挺身する信者こそ信心の正流をつぐものでご奉公ですが、最初に掲げた御教歌には、ご弘通ご奉公は教化だとは仰せられず、お講参詣や、お講を勤修し、それを繰り返す信者を指してご弘通のご奉公者と仰せられてあるので、今度はお講づとめや参詣がどうしてご弘通に直結するかをよく考えねばならぬ必要が生じました。

当宗は信者教育をお講席で行ないます。妙法のありがたいことを聞かせ、信心の増進をはかり、間違った考えを改良させる道場がお講で、そのお講参詣を常時心がければ信心が増進する仕組みになっています。また、お講願主は、その場所を提供したりして、信者教育に率先協力する功德を積みます。けれど、参詣は信心勉強のため、お講つとめは信者教育に役立つためという大目的を忘れて、習損じの形式化に陥っては困ります。「信者とは名ばかり信者そのゆゑは一句聴聞徳とおもはぬ」との御教歌に該当してはま

ずいのです。では信者教育がなぜご弘通ご奉公になるかそれは「法は人によって弘まる」からです。妙法は万法具足の大法だといっても、

法そのものは直接弘まりはしません。信者を通じて経力の偉大さを発揮し、信心を起こすのです。要するに信者の仲介で弘まるのですから弘通のない手は信者で、その信者の養成いかなが、ご弘通のきめ手になります。事実、名だけの信者に教化育成はできません。その意味がよくわかれば、お講を中心に行なう信者教育のいろいろのご奉公が、ご弘通の要素であることがわかり、人材養成の一日もゆるがせにできない意味も痛感されるでしょう。

ただ、信者教育とは物識りをつくるためのものでなく、信心の奥行きのある信者作りの精神教育がネライであることによく心得、考え違いのないよう、脱線防止に努めねばなりません。しかも、現代の科学進歩時代には一方で精神教育の必要性が増しますから、その点をも考慮して、信者作りに力を入れましょう。



今月のご奉公のすゝめ

◎「高祖日蓮大士七五〇回御遠諱」

報恩ご奉公 第一年度きりかえの年

二月のご奉公のすゝめ

令和六年度の寒参詣も四日で終了しますが、引き続き朝参詣に気張らせていただきますよう！

一、高祖日蓮大士ご降誕会総講

来る二月十六日(金)午前十時半より「高祖日蓮大士ご降誕会総講」を奉修させていただきます。

昨年は、高祖日蓮大士ご降誕八百年慶讃ご奉公結実の年で、十月九日(祝月)には本山宥清寺に於いて行われた『慶讃大法要』にお参詣させていただきました。

また、ご信者の皆さまお一人おひとりのご尽力をいただいて、正宗徒三百戸を達成することができ、報恩ご奉公も無事円成させていただきました。

しかし、油断をしますと、正宗徒はすぐに減少してしまいますので、教講異体同心で正宗徒の増加に勤めていきましょう！

御教歌

思へ人 祖師御出世の なかりせば

御題目は 誰(たが)手よりきく

二、門祖日隆大聖人祥月ご命日総講

二月二十五日(日)は、門祖聖人のご祥月命日です。

門祖聖人は、お祖師さまがご入滅なされてから一〇四年後の室町時代(至徳二年、一八八五年)にお出ましになられ、高祖大士の御教えを習い損じてしまった当時の法華宗等をお折伏すべく、お祖

師さまの教えをそっくりそのまま再興下されました。

門祖聖人はそのご生涯、現証ご利益によって弘通遊ばされ、十七ヶ寺ものお寺を建立なされました。また後進の私どもが信心の道筋を誤らないよう三千余帖といわれる膨大な御聖教(ごしよぎょう)をご著述くださいました。

寒さのつづくなかですが、体調に充分留意され報恩のお参詣をさせていただきますよう。

御教歌

此君の いまざざりせば 遠つおやの

清きながれを 誰かくまうし

三、春季彼岸会総回向のお知らせ

三月二十日(春分の日)十時より本堂に於いて「春季彼岸会総回向」を厳修させていただきます。

「お彼岸」は、普段ついつい忘れがちな恩ある「ご先祖」をお徳びし、お塔婆を建立しご回向させていただきます。佛立信者にとって大切な法要です。

今現在の私たちお互いが存在するのは、ひとえにご先祖さまのお陰です。

そのご恩を忘れることのないよう、ご回向とお塔婆の申し込みをさせていただきますよう！

御教歌

施餓鬼して 経よまんより 法界の

回向に口唱 するぞめでたし

●当山三大会の奉修御導師と日程変更について

ありがとうございます。

昨年十二月号に掲載させていただいた、開導会と高祖会の日程が、諸般の理由より変更となりましたのでご披露させていただきます。

なお、三大会の奉修御導師は下記の通りです。

◎門祖会 四月二十一日(日)十一時
奉修御導師 常信寺・常法寺御高職 横谷日熾上人
ご出座 服部 敬要ご住職

◎開導会 七月十四日(日)十一時
奉修御導師 春日部・妙信寺御高職 白石日柔上人
ご出座 白石照龍ご住職

◎高祖会 併修 井上日字上人御七回忌法要
十一月三日(日)十一時
奉修御導師 蒲 田・妙泉寺御高職 柴田日賢上人
ご出座 柴田教信化主

開講記念総講奉修

一月十二日(金)午前十時三十分より、令和六年度の『開講記念総講』が奉修され、併せて「令和五年度教化表彰式」「令和六年度弘通立誓式」「成人の証」授与式を挙行させていただきました。昨年、教化二戸成就された松原教区の大和佳子さんが代表で御住職より記念品を拝受。また本年度より事務局長になられた今光教区の角田和道氏が新たな思いで「お誓いの言葉」を御宝前に宣誓されました。

その後、本年度の成人者である今光教区の早野成駿さんと、寺内の濱口透さんの二人が、御住職より「成人の証」を授与され、参詣者一同は後続者育成の大切さを痛感させていただきました。

御教歌

御利益の ある宗旨世に なき故に

佛立講へ ひとり出で来る



御宝前奉納者

(令和五年十二月十五日、令和六年一月六日)

令和五年度末 御礼言上者

(令和五年十二月十五日、令和六年一月六日)

御供米料

(令和五年十二月十五日、令和六年一月十三日)

高祖会御有志奉納者

参詣達成者

(令和四年十二月一日、令和五年十一月三十日)

令和六年度「初総講」

併修「祝杯式」挙行される

去る一月三日(水)午前十時半より当山住職・内田日孝導師ご唱導のもと、令和六年度「初総講」が奉修され、併せて「祝杯式」が挙行されました。昨年までは、コロナ禍のため寺内奉修でしたが、本年の初総講・祝杯式は、末寺より横谷日熾導師、服部歎要御住職、水田廣清師もご出座され、厳粛な式典となりました。

お看経後、濱口宇清師が「御法語」を拝読され、つづいて御講有上人の「年頭の言葉」をDVDで拝聴させていただきました。当山住職よりパワーポイントによる御法門。

また末寺を代表して、横谷日熾導師より新年のご挨拶をいただき、祝杯式では服部御住職が乾杯の発声をとられて、参詣者一同「信詮会」各寺院のご弘通発展を祈念させていただきました。

なお、午後の「信詮会」の会議では、教務員の増加を計るべく「養成道場」の開催など活発な意見交換がありました。

お参詣者は寺内八十四名、他寺院八名、合計九十二名でした。



令和六年度 教区・部役員名簿

教区	教区長		部長	副部長	会計	庶務	評議員	班長	
城東	石川英雄	1	阿部軍太郎	阿部房子 山本幸太	奥村愛子 山本幸太	山本 円	奥村愛子	阿部房子 山本 円 阿部軍太郎 奥村愛子 笹沼ユキ子 大森久子 石川けい子	
		2	小野 寛	小野美智子	笹沼ユキ子	小野美智子		鈴木仁 小倉すみ	
		3	石川英雄 (部長代理)	矢古宇真里子 (副部長代理)	矢古宇真里子 (会計代理)				
清原			神山栄子	山口淑甫 青木 昭	山岸鈴代		神山貞夫	神山栄子 馬場昌子 青木 昭	
陽北			五味測礼子	中村喜全	五味測礼子 阿久津美子 富岡道子	阿久津美子	中村喜全	大槻清子 高橋幸子 井上武男 阿久津美子 富岡道子	
西原			井上 保	植木誠一	井上美子	鈴木英子	井上 保	清水恭子 植木誠一 井上美子 田代 寿	
松原			入江康友	小松利光 大和佳子	入江康友			萱嶋たみ子	
江曾島	佐々木清子	1	小玉俊雄	石川正宏	小玉君子 沼尾礼子 西間木美子			沼尾礼子	小玉君子 西間木美子 石川正宏
		2	渡邊孝之	吉尾央子	中島恵子 安保 孝			福田時子	朝倉友子
石宮	鈴木サト子	1	鈴木サト子		渡辺宮子			歌川昭夫	増古トシ子 町田弘次 谷田部いつ子 浅沼幸子 保木正博 金田小夜子 柏崎ミエ子
		2	保木正博	星川義明	金田小夜子 浅沼幸子				
壬生	清澤 修	1	清澤 修		篠原春雄	清澤 剛	林弘	山崎久夫 高倉幸子 坂田梅二 卯月英雄 阿久津健一	
		2	林 弘	卯月英雄	井上涼子	井上涼子			
今光	角田和道	1	角田則子	早野敏樹	角田和道	角田和之	角田則子	入江玲子 角田和之 永田 武 早野敏樹 高倉宏之 尾形妙子 渡邊康子	
		2	高橋佳子		高橋佳子			宇梶利男 高橋佳子	
鹿沼			前川長司	近藤 進	前川長司	前川長司		近藤 進 神山誠一	
矢板	澤村まつ子				澤村まつ子			澤村まつ子	
玉生			阿久津進						
那須	片桐基弘		片桐基弘	中島寛史	片桐洋子		渡部 貢	渡部由美子	
塩原			塩谷要次		岩井すみ子			伊藤令康	
高根沢			高田三樹男	石岡ノブ	高田三樹男			丸山榮夫	
芳賀南		1	宇津木由美	藤林昌弘	宇津木由美		外池茂樹	須永和子 石原英和	
		2	外池万里世		外池万里世				
結城			木暮賢二	坂本 博	木暮紀子			木暮知賀子	

令和六年度 常照寺事務局 役員名簿

事務局長	角田 和道	事務局次長	中島 正清	石川 英雄	清澤 修
相談役	井上 眞	会計監査	星川 義明		
総務部	部長	清澤 修	副部長	青木 昭	
	庶務・司会	矢古宇真里子	山本 円	内田 明日香	
弘通部	弘通責任者	中島 正清			
	部長	林 弘	副部長	歌川 昭夫	現勢課 清澤 修
儀式部	部長(学徒)	渡邊 孝之	副部長	前川 長司	
		卯月 英雄(学徒)		安保 孝	
管理部	部長	石川 英雄	(防火責任者) 卯月 英雄		石川 正宏
財務部	部長	安保 孝	副部長	中島 恵子	
教養部	部長	山本 幸太		副部長 大槻 清子	
	壮年会長	卯月 英雄	婦人会長	佐々木 清子	
	あゆみ会長	山本 幸太	くんげ会長	大槻 清子	副会長 大森 隆行
わかば会 (接待部)	部長	沼尾 礼子	副部長	西間木 美子	
		大槻 清子		清水 恭子	藤田 里恵 山本 円
広報企画部	部長	青木 昭			
	ホームページ課	山本 幸太	山本 円		
	弘報課	濱口 信明	内田明日香		

諸納金月報					法城護持基金		高祖会全国奉納金		高祖会奉修費		生花料		
令和5年11月					単位 円		単位 円		単位 円		単位 円		
教区名	部	義納金	御講賽銭	願主奉納金	人数	基金	人数	金額	人数	金額	人数	金額	
寺	内				7	37,500	3	65,000	5	120,000	5	18,000	
他	寺院						0	0	0	0	1	2,000	
常	照寺						0	0	1	10,204		0	
城	東	1	3,000		310	4	8,000	2	6,000	4	16,000	4	8,000
		2	6,000	500	630	17	20,000	7	20,000	12	39,000	14	28,000
		3	600		550			13	33,000	14	33,000	6	12,000
清	原	3,900	200	390	9	10,500	6	14,000	5	11,000	5	10,000	
陽	北	6,300	600	630	16	17,000	12	36,000	10	28,000	9	18,000	
西	原		700	680	2	5,000	12	25,500	13	29,500	12	24,000	
松	原	6,300	200	470	8	6,500	9	27,000	8	24,000	9	18,000	
江	曾島	1	9,300		760	22	17,500	14	19,500	14	21,000	8	16,000
		2	12,300		930	19	28,000	17	33,000	17	41,000	17	34,000
石	宮	1	1,800		250	6	6,500	6	18,000	6	18,000	6	12,000
		2	8,700	800	900	20	29,500	14	47,000	12	41,000	13	26,000
壬	生	1	2,400		200	4	7,000	5	10,000	5	8,000	4	8,000
		2	6,000	1,000	710	18	32,000	13	42,000	15	45,000	15	30,000
今	光	1	14,700	1,000	760	14	25,000	13	47,000	13	50,000	13	26,000
		2	2,400		150	3	3,000	3	3,000	4	9,000	4	8,000
鹿	沼	3,900	300	260	9	9,000	6	31,000	6	34,000	6	12,000	
矢	板	2,100	600		1	2,000	0	0	2	5,000	1	2,000	
玉	生						0	0	0	0		0	
那	須		1,000	300	9	14,500	7	12,000	7	10,000	6	12,000	
塩	原						0	0	3	3,000		0	
高	根	1,800	600	180	5	5,000	0	0	2	3,000	3	6,000	
芳	賀南	1	1,800		180	5	4,500	5	5,000	5	5,000	5	10,000
		2	1,200	1,000	120	2	4,000	1	3,000	1	10,000	1	2,000
結	城	2,100	700	210	4	4,500	4	6,000	3	3,000	3	6,000	
湯	西川						0	0	1	6,000	1	2,000	
婦	人会		1,000				0	0	0	0		0	
壯	年会		1,000				0	0	0	0		0	
合	計	96,600	800	9,570	204	296,500	172	503,000	188	622,704	171	350,000	

◎御宝前奉納・御供米料・諸納金・法城護持基金・奉納金・奉修費などは、毎月十三日までの事務所受付分まで締めさせていただきます。

諸納金月報					法城護持基金			寒供養			お炭代		
令和5年12月					単位 円			単位 円			単位 円		
教区名	部	義納金	御講賽銭	願主奉納金	人数	基金	人数	特	人数	志	人数	志	
寺	内				7	37,500			5	25,000	5	20,000	
他	寺院											0	
常	照寺											0	
城	東	1	1,200		310	2	5,000		5	10,000	5	9,000	
		2	6,000		630	17	20,000		11	19,000	10	19,500	
		3		700	550				9	13,000	9	13,000	
清	原	3,900	1,000	390	9	10,500		7	7,000	7	7,000		
陽	北	6,300	600	720	13	14,000		11	13,000	11	12,500		
西	原		500	680	2	5,000		12	20,000	12	20,500		
松	原	3,300	200	290	9	8,000		8	19,000	8	17,000		
江	曾島	1	15,900	1,000	730	22	17,500		10	15,000	9	13,000	
		2	12,000		880	19	28,000		16	26,000	16	24,000	
石	宮	1	2,400		250	7	7,500		6	13,000	6	12,000	
		2	8,700	1,300	900	20	29,500		14	32,000	14	32,000	
壬	生	1	2,400	300	200	4	7,000		4	6,000	4	6,000	
		2	6,000	300	710	18	32,000		12	23,000	15	23,000	
今	光	1	14,400	1,000	740	13	25,000		12	22,000	12	16,000	
		2	2,400		150	3	3,000		3	3,000	3	3,000	
鹿	沼	3,900	300	260	9	9,000		7	13,000	7	13,000		
矢	板	900	300		1	2,000		1	1,000	1	1,000		
玉	生							2	2,000	2	2,000		
那	須		1,000	300	9	14,500		7	12,000	7	12,000		
塩	原							0	0	0	0		
高	根	1,800	600	180	5	5,000		3	3,000	3	3,000		
芳	賀南	1	1,800	500	180	5	4,500		5	5,000	5	5,000	
		2							0	0	0	0	
結	城	2,100	700	210	3	4,500		3	6,000	3	6,000		
湯	西川							0	0	0	0		
婦	人会							0	0	0	0		
壯	年会							0	0	0	0		
市	外合同		700										
合	計	95,400	11,000	9,260	197	289,000	0	0	173	308,000	174	289,500	

◎お塔婆の申し込みについて(お願い)
二月一日より、原則として事務所での申し込み締切を三日前までとさせていただきます。急なご用の場合は、直接、教務部までご連絡ください。

能登半島地震支援金勧募の御願

皆様もすでにご存じの通り、元旦に起こった能登半島地震では、第一支庁管内の石川県を中心に甚大な被害が発生しました。宗務本庁総務局では、「令和六年能登半島地震災害対策室」を設置し、宗内・教講の被害状況の情報収集を行っており、今後の支援活動を視野に入れながら、対応について迅速に検討しております。以下は、一月九日付け通達の抜粋です。『令和六年能登半島地震被災地早期復興のご祈願』『令和六年能登半島地震犠牲者のご回向』をお願いいたします。合わせて支援金募金の勧募の実施をお願いし、宗務本庁までご送金いただきますようお願いいたします。『ご送金いただいた支援金は、宗内寺院、教講への支援活動、現地の復興支援、社会貢献に広く役立させていただきます。募金の期間は三カ月とし、三月末日までとします(常照寺においては三月二十日まで)』。各方面で被災地への募金を募っていますが、常照寺としてまとまった支援金を送りたいと考えています。ぜひ、ご家族やご友人にもお声かけをお願いします。

春季彼岸会総回向 「ご回向」「お塔婆」の申し込み

①「ご回向」は一霊三百円以上です。
②「お塔婆」は一本千二百円です。
「お塔婆」は三月一日までに、「ご回向」は三月十三日までに、各部でまとめ、事務所までお申し込み下さい。

ご信者の登壇コーナー

この度、弘報に俳句・川柳・短歌をご信者のみなさま方の投稿作品を掲載させていただきます。それぞれの作品は俳句の先生でいらっしゃる、片桐基城先生(那須教区)が、毎月、真摯に推敲・寸評のうえ、添削していただいております。そのため、某テレビ局の「プレバト」にも勝るとも劣らないクオリティになっている、と自負しております。

上手、下手は関係ございません。言葉遊びの一環として一人でも多くのご信者のみなさま方の投稿をお待ちしております。弘報では紙面の都合上、作品のみの掲載となりますが、ホームページのギャラリーにある「文芸」のページでは、片桐先生の寸評添削などの詳細を見ることが出来ます。投稿を希望される方は、渡邊孝之もしくは教務部までお問い合わせ下さい。

俳句の部

- ◎ 暁の月に向かいて渡り鳥 清澤 修(壬生教区二部)
- ◎ 愛猫の冬毛に変わりふかふかに 大和佳子(松原教区)
- ◎ 自転車で風きる耳たぶしもやけに 大和佳子(松原教区)
- ◎ 落ち葉舞うあつさ感じる冬日和り 澤村まつ子(矢板教区)
- ◎ 囲いネギ新年用にプレゼント 澤村まつ子(矢板教区)
- ◎ ジャリジャリと楽しや散歩しも柱 福田時子(江曾島教区二部)
- ◎ 走り去る雲見て知るや寒の入り 渡邊孝之(江曾島教区二部)
- ◎ 寒柝の一打一打が遠くなり 渡邊孝之(江曾島教区二部)
- ◎ 妻残す今年も咲きぬ福寿草 渡邊孝之(江曾島教区二部)

◇ 訃報

江曾島教区二部 吉尾喜八郎 行年八十二歳(一月十七日帰寂)
法号 鷲山院法仕日喜居士

心よりご冥福をお祈り申しあげます。

◎ 次回のお焚き上げは三月です。

事務所まで持ち込み品(可燃物に限ります)の事前検査を受け、冥加料をお納めください。ガラス・陶磁器・金具などは事前に取り外してください。紛らわしいものなどは儀式部(渡邊・前川・卯月・安保)に相談してください。

編集後記

今月号から新コーナーが誕生しましたが、今後も親しみを持てる紙面作りのため、リニューアルを続けていきます。また、ホームページも充実させていきますので、弘報・ホームページへのアイデア、耳寄り情報などをお持ちの方は、お知らせください。また、ホームページをお気に入り登録されていない方は、ぜひともお願いします(弘報の内容も早く見られます)。

お焚き上げ冥加料一覧

種類	数	金額	備考
お塔婆	1本	200円	
お守り	1個	200円より	サイズにより金額は異なります。
お数珠	1本	200円	
誂法物	1個	1,000円より	物により金額は異なります。

※上記以外の種類につきましては相談のうえ冥加料を決めさせていただきます。



日	曜日	時間	教区	氏名	場所・区分	事務併修	住職	宇清	陽哲	備考
1	木	10:30	月始め祈願総講							当番 江曾島①・石宮・今光
2	金									
3	土	10:30	結城	木暮賢二	乙御講	○	○			
		11:00	壬生①②	山川静江	乙御講	○		○		
		14:00	城東・清原	大野マツイ	甲御講		○	○		
4	日	9:00	局長室会議		講堂		○	○	○	
		11:00	くんげ会会議		講堂			○		
5	月				京都		◎			(住) 宗務本庁へ出張 (5~9日)
6	火						◎			
7	水				高崎		◎	◎		(宇) 護念寺へ出張
8	木	11:00	鹿沼	近藤 進	乙御講	○	◎	○		
		14:00	西原	加藤好子	乙御講	○	◎	○		
9	金	14:00	清原	山岸鈴代	乙御講	○	◎	○		
10	土	9:00	婦人会	佐々木清子	御講		○			
		11:00	陽北・松原	高橋勝彦	甲御講		○			
		11:00	高根沢	阿見トキ	自宅回向			○		
11	日	11:00	弘通促進大会		栃木		◎	◎		(住) (宇) 常法寺へ出張
12	月	10:00	鹿沼	赤羽根義明	自宅回向			○		
		11:00	江曾島②	吉尾央子	乙御講	○	○			佐々木清子席
13	火	10:30	高祖日蓮大士ご命日総講							当番 城東・清原・壬生
14	水	11:00	市外	前川長司	甲御講		○	○		
15	木		教務大会		渋谷		◎	◎		(住) (宇) 乗泉寺へ出張
16	金	10:30	高祖大士ご降誕総講 (併修 開導日扇上人ご命日総講)							当番 西原・松原・高根沢
17	土	10:30			高崎			○		(宇) 護念寺へ出張
18	日	9:00	壮年会	青木 昭	御講			○		
		11:00	江曾島①	山崎英己	乙御講	○	○			
		14:00	松原	栗山和男	乙御講	○	◎	○		(住) 宗務本庁へ出張 (18~20日)
19	月						◎			
20	火	12:00	那須	片桐基弘	乙御講	○	◎	○		
21	水	13:00	江曾島・西原	荒木 勲	甲御講		○	○		
22	木	11:00	今光①②	鳩山洋一	乙御講	○		○		
		12:00	陽北	中村寿美子	乙御講	○	○			
23	金		護念寺総講		高崎		◎			(住) 護念寺へ出張
24	土	11:00	那須	片桐鷹矢	自宅回向			○		
		12:00	芳賀南①②	藤林昌弘	乙御講	○	○			
25	日	10:30	門祖日隆大聖人ご命日総講							当番 陽北・江曾島②・鹿沼
		12:40	局長室会議		講堂		○	○	○	
		14:00	石宮②	星川義明	自宅回向		○			
26	月	12:00	矢板	澤村まつ子	乙御講	○				塩原・玉生教区併修
27	火	11:00	石宮①②	谷田部いつ子	甲御講		○	○		
		14:00	高根沢	石岡ノブ	乙御講	○	○			
28	水	11:00	石宮①②	鈴木典子	乙御講	○		○		星川義明席
		14:00	城東①②③	大森久子	乙御講	○		○		
29	木									